

土 渚

ひ
じ
う
ち

地名の由来は、川の淵に土砂が集積した土地にできた集落だったので、土渚となりました。



土渚は中筋の中心部に位置しています。現在60世帯が暮らしている地区です。昭和25年の解体合併までは、中筋村役場の所在地でした。当時は物資運搬に円山川がよく利用されており土渚には、船着き場がありました。又、対岸への渡し舟は中筋では最後まで利用していました。渡し場への階段の一部が残っています。産業は、農業で水稻、養蚕が盛んに行われていました。平成以降は耕作者が減少していましたが、このとり夢ファーム(株)が設立され、区内耕作地7割近くを請け負い、機能維持、管理がされています。

人物

【華道:加藤 三津造氏】

加藤氏は、明治26年(1893年)4月水嶋任三郎様の三男として豊岡市加陽にて誕生されました。但馬と縁の深い未生流の目代、加藤三甫として多くのお弟子さんを育てられ、流派の発展に寄与されました。昭和43年10月、昭和天皇・皇后両陛下が但馬行幸中に城崎温泉にご宿泊されました。そのお部屋に、但馬の華道界を代表して、生け花を生けられました。(試行錯誤の末にご自宅の庭に植えられていた松の木を伐り、生けられたそうです。)昭和44年6月27日に77歳で逝去されました。



城崎温泉「ゆとうや」で生けられました

文化・伝統

【秋祭り宵宮:松明行列】

土渚には、民話キジマダが語り継がれています。八坂神社の山裾に洞穴があり、キジ、マダと呼ばれている猫が住み着いていて悪さを繰り返していました。悪さをされないように、キジ・マダと叫び、太鼓を打ちながら松明の灯りを頼りに列をなして子供たちが宮籠りに向かいます。

掛け声と太鼓のリズム (コンコンは、太鼓の縁を打つ音)

掛け声 キ〜ジ マ〜ダ
太鼓 コンコン ドンドン コンコン ドン ドンドン ドン ドンドン



<写真は、拝殿、宮籠りの様子、鳥居、松明行列出発前>

